

(仮称)第3老人福祉センター 基本コンセプトの検討

1 上位・関連計画

(1) 第6次小牧市総合計画 新基本計画 (平成26年3月)

■基本施策8 高齢者福祉

○高齢になっても、心身の健康を維持し、生きがいを持てるようにするとともに、介護や支援が必要となっても、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができる環境・仕組みを整えます。

■基本施策の展開方向1：高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援します。

- 生きがい活動から社会貢献活動まで、高齢者が長年培ってきた技術や経験を社会で発揮できるようにします。
- 地域における人とのつながりやふれあいを感じられるようにします。

【第6次小牧市総合計画におけるキーワード】

- ・心身の健康の維持 ・生きがいを持てる
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくり
- ・高齢者の技術や経験を社会で発揮 ・人とのつながりやふれあい

(2) 第7次小牧市高齢者保健福祉計画 (平成30年3月)

■基本目標：いきいきとした潤いある暮らしづくり

1. 健康づくりと介護予防の充実

○老人福祉センターや地域の会館といった身近な場所において健康に関して学ぶ場、気軽に相談できる場を充実するとともに、楽しみながら主体的に健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくりを進めます。

2. 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

○趣味やスポーツに意欲、関心のある高齢者は少なくありません。目的や目標のある生活は健康づくりの基本であり、健康寿命を延ばす要因となります。(中略)少しでも何か取り組める方が増えるよう、世代にとらわれず、生涯を通じて幅広い分野に亘った場の確保、活動の支援、人材の育成を図ります。

第1・2老人福祉センターの運営 (野口の郷、小針の郷)	60歳以上の方に健康の増進や生きがいのある生活を送っていただくための施設で、地域住民との交流や軽スポーツ、娯楽、健康増進、教養・生きがいづくり講座などを開催します。
-----------------------------	--

【第7次小牧市高齢者保健福祉計画におけるキーワード】

- ・健康に関して学ぶ場 ・気軽に相談できる場
- ・楽しみながら主体的に健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくり
- ・地域住民との交流 ・軽スポーツ、娯楽、健康増進
- ・教養、生きがいづくり講座

2 施設利用者アンケート

市内の老人福祉センター利用者のニーズにて求められる機能

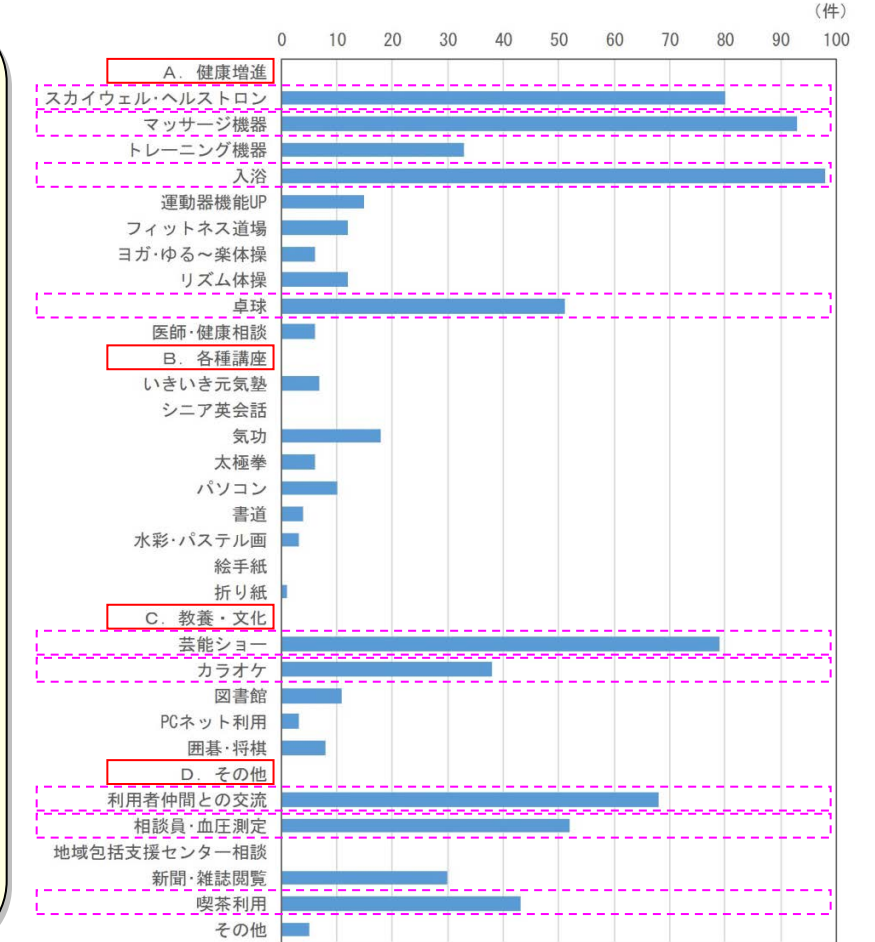
■第1老人福祉センター・第2老人福祉センターにおける施設利用調査では、以下の機能のニーズが高い傾向にある。

○健康増進分野においてはマッサージや入浴、卓球などのリラクゼーション・スポーツ機能のニーズが高い傾向にある。

○教養・文化分野においては芸能ショー・カラオケなどのアミューズメント機能のニーズが高い傾向にある。

○その他、仲間との交流や喫茶利用といったコミュニティ機能のニーズが高い傾向にある。

表 既存の老人福祉センターにおける施設利用調査 (件)



出典：「(仮称)第3老人福祉センター基本調査報告書」(平成29年3月)より抜粋

3 建設検討委員会からの意見

■(仮称)第3老人福祉センターに関する意見

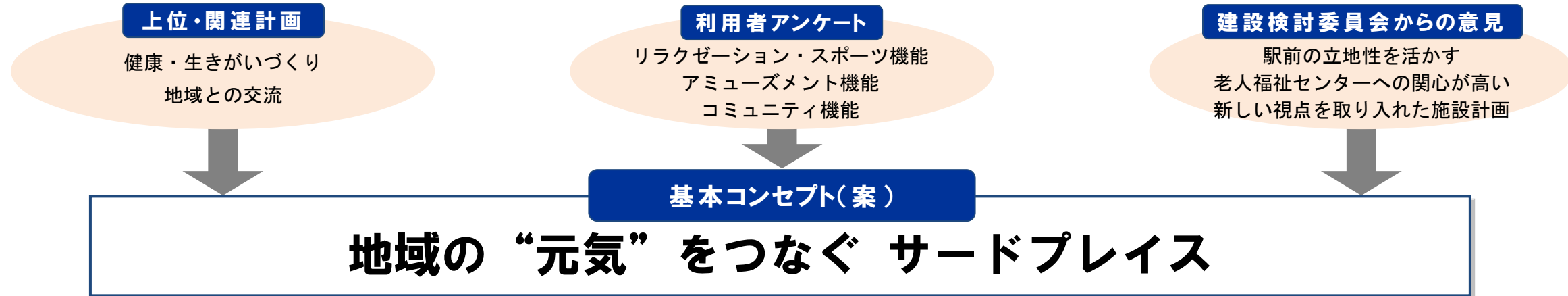
- ・これまでの施設にはない、**新しい視点(目的や機能)を取り入れて、老人福祉に寄与することができる施設**とすることが大切。
- ・**多世代の方が利用する駅前という立地性を活かして欲しい。**
- ・**若い人達が飛び込んでくるような雰囲気づくり**が大切。
- ・教養文化分野にある図書館やネット利用については、**大学生が講師やボランティアとして参加していただくとよい。**
- ・「野口の郷」の再整備により、**老人福祉センターへの関心が高まっている。**
- ・**集会室は、カラオケや芸能ショーなどの人気が高いイベントが行われる他、多くの利用者が利用する交流、にぎわいの場**となっている。



## 4 (仮称)第3老人福祉センターの基本方針(案)

### (1) 基本コンセプト(案)

上位・関連計画や施設利用者アンケート、建設検討委員会での意見を踏まえ、(仮称)第3老人福祉センターの基本コンセプト(案)を以下のように設定します。



(仮称)第3老人福祉センターは、この地域に住む高齢者一人ひとりがいきいきとした人生を送り続けるため、主体的に健康づくりや生きがいきづくりを行う空間としての役割を持つとともに、日常の一部として、安心して利用できる居心地の良い空間(≒地域のサードプレイス)となることが期待されます。

また、これまでの老人福祉センターにはない「駅前(=多世代が集い、交流する空間)」という特徴を活かし、多世代の人々が交流し、にぎわう空間の創出を図ることで地域を元気にします。

※「サードプレイス」とは…

自宅(ファーストプレイス)でも、職場・学校(セカンドプレイス)でもない、自分にとって心地の良い時間を過ごせる“第三の場所(サードプレイス)”という意味を持ちます。

### (2) 基本方針(案)

上記の基本コンセプト(案)の実現を目指し、以下に基本方針を設定します。

#### 【基本方針1：高齢者の健康づくり・生きがいきづくりに資する機能の充実】

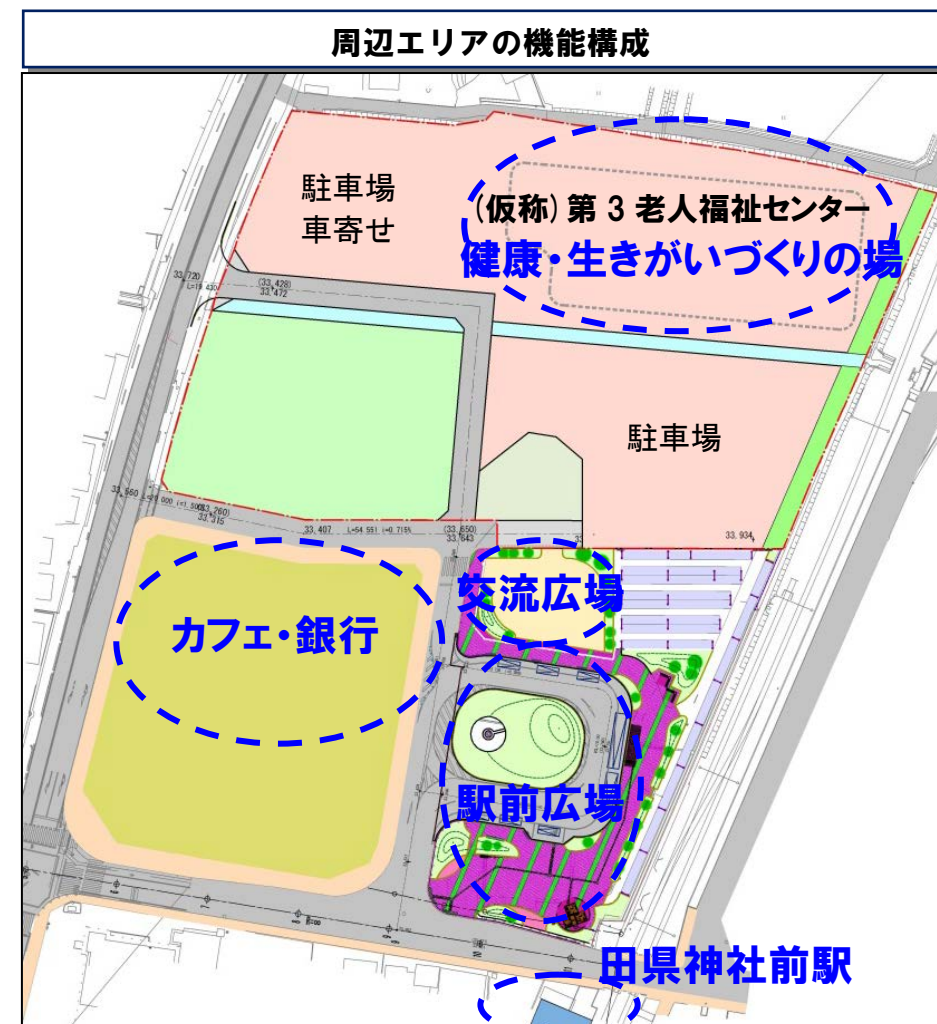
地域の老人福祉の拠点として、健康相談や機能回復訓練、教養講座などの各種機能を充実させることにより、主体的に楽しみながら活動する高齢者の健康づくり・生きがいきづくりを支えます。また、既存の老人福祉センターを含めた利用者ニーズ等の情報を共有し、地域の特性に合わせた適切なサービスの提供を図ります。

#### 【基本方針2：居心地が良く、快適に利用できる空間構成】

使いやすい諸室配置や分かりやすい施設内動線など、高齢者にとって居心地が良く、快適に利用できるような空間構成とします。また、多目的利用ができる諸室やオープンスペースを配置することにより、各種講座や定期イベントなどの日常的な利用だけでなく、多様なニーズへの対応を図ります。

#### 【基本方針3：立地性を活かした、交流・にぎわい機能の充実】

駅前という立地性を活かし、高齢者や地域住民、駅利用者など多世代の人々が出会い、交流し、にぎわうことができる空間づくりに努めます。また、近隣大学や駅周辺に立地する施設など地域に関係する機関と連携し、出前講座などの新たなプログラムを実施するなどして、多世代・地域とつながる機会の創出を図ります。



# (仮称)第3老人福祉センター 施設機能の検討

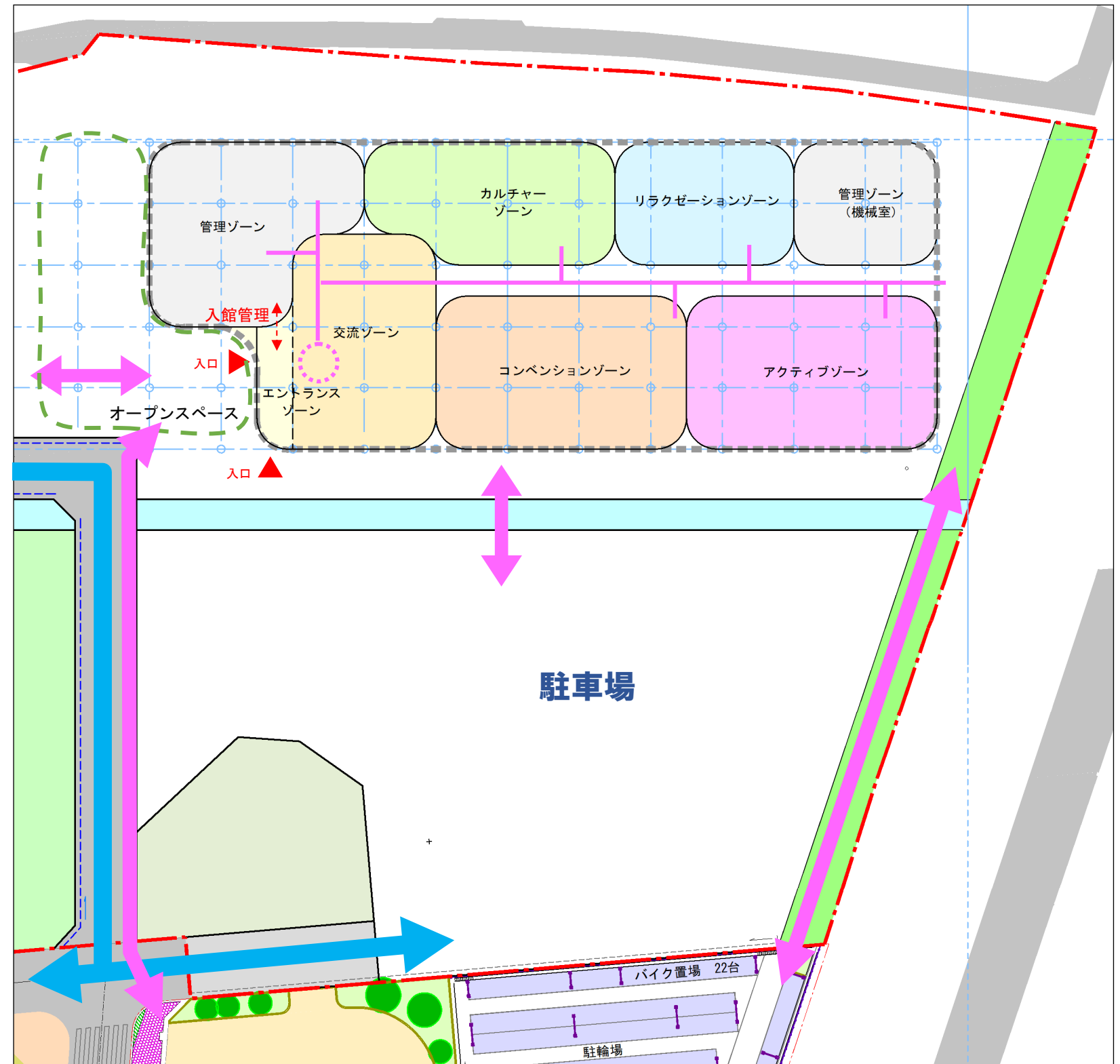
## (1) 導入する施設機能について

基本方針及び既存の第1・第2老人福祉センターの諸室構成をもとに、(仮称)第3老人福祉センターへ導入する施設機能(案)を以下のように設定します。

図 3つの基本方針と導入する施設機能(案)

基本方針			(仮称)第3老人福祉センターに導入する施設機能と必要となるゾーン
1	2	3	
高齢者の健康づくり・生きがいつくりに資する機能の充実	居心地が良く、快適に利用できる空間構成	立地性を活かした、交流・にぎわい機能の充実	コンベンションゾーン
			・発表会や展示会などイベント開催に対応できる機能
			アクティブゾーン
			・運動や機能回復訓練により、健康を増進する機能
			リラクゼーションゾーン
			・入浴や休憩など、快適に過ごすことでリラックスできる機能
			カルチャーゾーン
			・各種講座や定期イベントなどにより教養を向上する機能
			交流ゾーン
			・コミュニティや情報提供の場となり、交流を促進する機能
エントランスゾーン			
・施設の“顔”として来館者を迎え入れ、スムーズに導く機能			
管理ゾーン			
・受付や日々の執務の拠点となる管理機能 ・健康相談や生活相談を支援する機能			
オープンスペース			
・地域に関する機関と連携し、新たなプログラムを実施し、多世代や地域とつながるための機能			

図 施設機能のゾーニング(案)



⇔ 車両動線

⇔ 歩行者動線

## (仮称)第3老人福祉センター 施設機能の検討

### (2) 各ゾーンにおける施設機能と参考規模

小牧市の既設老人福祉センターの諸室構成及び諸室面積をもとに、(仮称)第3老人福祉センターへ導入する機能の規模(案)を以下のように設定します。

ゾーン名称	導入する機能	機能を担う諸室		用途
		室名	参考面積(m <sup>2</sup> )	
コンベンションゾーン	・発表会や展示会などイベント開催に対応できる機能	小計	約 345	
		集会室	240	集会室 200名程度が利用できるサークル活動の発表の場や会食の場
		ステージ	60	
		倉庫	25	備品等の収納
		控室	20	ボランティアやイベント出演者の控室
アクティブゾーン	・運動や機能回復訓練により健康を増進する機能	小計	約 280	
		マッサージ室	50	ヘルストロンなどが利用できる場
		機能回復訓練室	160	卓球ができるスペースなど、誰もがいつでも体力作りや運動を楽しめる場
		器具庫	20	器具・備品等の収納
		多目的室	50	フィットネスやヨガ、運動系講座などアクティブな活動を多目的に行う場
リラクゼーションゾーン	・入浴や休憩など快適に過ごすことでリラックスできる機能	小計	約 190	
		脱衣室A・B	80	男女それぞれが脱衣し入浴する場
		浴室A・B	110	
カルチャーゾーン	・各種講座や定期イベントなどにより教養を向上する機能	小計	約 190	
		創作室	50	作品制作等、文化的な活動を行う場
		娯楽室	50	囲碁、将棋などを楽しむ場
		教養室	50	書道、華道などを楽しむ場
		会議室	40	交流イベントや会議などフレキシブルな活動を楽しむ場
交流ゾーン	・コミュニティや情報提供の場となり交流を促進する機能	小計	約 280	
		情報コーナー・ロビー	200	情報交換の場や作品展示の場 ゆったり座って話ができる場
		喫茶コーナー 厨房	65 15	軽食や飲み物の販売等、利用者が食事できる場
エントランスゾーン	・施設の“顔”として来館者を迎え入れ、スムーズに導く機能	小計	約 40	
		ホール・風除室	30	
		下足	10	
管理ゾーン	・受付や日々の執務の拠点となる管理機能 ・健康相談や生活相談を支援する機能	小計	約 375	
		事務室	65	利用者の受付の他、職員の執務室
		ボランティア室	45	ボランティアの控室として利用
		業務員室	15	職員の控室
		相談室1	15	健康相談や栄養相談、就労相談の場として、利用者のプライバシーを保護できる場
		相談室2	15	
		トイレ	50	多目的用・男性用・女性用
		更衣室	20	男性用・女性用
機械室	150	機械設備(ボイラー・給排水)・電気設備		
オープンスペース	・地域に関する機関と連携し、新たなプログラムを実施し、多世代や地域とつながるための機能	エントランス広場、足湯など	-	
	諸室合計・・・(A)		約 1,700	
	その他共用部・・・(B)		約 340	廊下・共用スペースなど
	延床面積・・・(C) (C)=(A)+(B)		約 2,040	